



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 ミツ星ベルト株式会社
 コード番号 5192 URL <http://www.mitsuboshi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 垣内 一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務部長 (氏名) 増田 健吉
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 078-685-5630

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	17,477	4.1	2,157	3.9	2,484	30.6	1,695	27.1
29年3月期第1四半期	16,791	3.3	2,244	10.4	1,902	22.5	1,334	21.6

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,056百万円 (%) 29年3月期第1四半期 1,317百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	28.02	
29年3月期第1四半期	21.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	91,075	64,404	70.7	1,064.17
29年3月期	89,912	63,136	70.2	1,043.20

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 64,404百万円 29年3月期 63,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		9.00		13.00	22.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		11.00		11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,500	0.8	3,800	15.8	3,800	7.4	2,700	8.1	44.61
通期	67,000	0.9	7,400	10.6	7,400	12.8	5,300	20.5	87.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細については、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	65,208,397 株	29年3月期	65,208,397 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	4,687,898 株	29年3月期	4,687,018 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	60,520,859 株	29年3月期1Q	62,772,083 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替相場が比較的安定して推移するなか、雇用環境や企業収益の改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。海外の経済は、アジアでは中国において政府のインフラ投資による景気の下支えが見られ、米国では企業業績の回復や個人消費の増加などを背景に景気は堅調に推移し、欧州においても緩やかな景気回復がみられました。一方、海外の政治情勢は、米国新政権の政策や英国のEU離脱など政治動向に対する世界経済への不安などにより依然として不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは海外を中心に販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高174億77百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益21億57百万円（前年同期比3.9%減）、経常利益24億84百万円（前年同期比30.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億95百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内ベルト事業〕

自動車用ベルトは、補修用は国内の車検交換需要の減少に加え、ユーザの輸出向け需要が減少したことから、売上高は前年同期を下回りましたが、組み込みライン用はメーカーの新型車投入効果により増加し、全体では前年同期並みとなりました。

一般産業用ベルトは、大型タイミングベルトの拡販などから売上高が増加し、OA機器用ベルトはユーザの海外生産移管が進むなか、一部のユーザにおいて国内調達が増加したことから売上高は横ばいとなりました。

また、合成樹脂素材は自動車関連部品などで売上が増加し、一方、搬送ベルトは横ばいとなりました。

その結果、当事業の売上高は68億60百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は17億91百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

〔海外ベルト事業〕

欧州では、一般産業用ベルトは農業機械用などの補修用需要が増加するとともに、自動車用ベルトも二輪車用の需要増加により売上高が伸長しました。

米国では、一般産業用の大型タイミングベルトの需要が減少しましたが、自動車用ベルトの販売が好調に推移し、全体では売上高が増加しました。

アジアでは、OA機器用ベルトは、日系ユーザ向けの需要の落ち込みにより売上高が減少しましたが、一般産業用ベルトは中国市場での落ち込みを、東南アジアにおける補修市場でカバーし売上高が増加しました。また、自動車用ベルトも四輪車用・二輪車用ともに売上高が増加したことから、全体では増加しました。

その結果、当事業の売上高は82億77百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は9億52百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

〔建設資材事業〕

建築部門の売上高は前年同期並みとなったものの、土木部門は廃棄物処分場関連の工事物件が少なかったことから、全体では売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は11億61百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は6百万円（前年同期比90.3%減）となりました。

〔その他〕

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は11億77百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は11百万円（前年同期比32.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末は、受取手形及び売掛金の増加等により流動資産が6億12百万円増加したことから、総資産は前連結会計年度末比11億63百万円増加の910億75百万円となりました。

一方、負債は、借入金の減少等により、前連結会計年度末比1億5百万円減少の266億71百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が9億9百万円増加した結果、前連結会計年度末比12億68百万円増加の644億4百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.2%から70.7%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内経済は緩やかな回復基調が予想されるものの、海外では米国や欧州の政治動向や北朝鮮問題などによる下振れ懸念もあり、世界情勢の不透明感は続くものと考えられます。

このような状況を踏まえ、平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に発表しました業績予想の変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,262	26,279
受取手形及び売掛金	14,648	15,294
商品及び製品	11,605	11,357
仕掛品	1,549	1,651
原材料及び貯蔵品	2,388	2,321
その他	1,338	1,493
貸倒引当金	△112	△107
流動資産合計	57,679	58,291
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,697	6,590
機械装置及び運搬具（純額）	6,976	6,808
工具、器具及び備品（純額）	2,083	2,111
土地	4,280	4,282
建設仮勘定	721	1,152
有形固定資産合計	20,759	20,943
無形固定資産	69	69
投資その他の資産		
投資有価証券	11,066	11,401
その他	348	381
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	11,403	11,771
固定資産合計	32,232	32,784
資産合計	89,912	91,075

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,779	7,896
短期借入金	3,472	3,316
未払法人税等	1,360	855
賞与引当金	759	1,280
その他	4,750	4,732
流動負債合計	18,121	18,081
固定負債		
長期借入金	3,048	2,812
退職給付に係る負債	1,393	1,438
役員退職慰労引当金	26	25
その他	4,186	4,314
固定負債合計	8,654	8,590
負債合計	26,776	26,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,111	2,111
利益剰余金	50,328	51,237
自己株式	△3,305	△3,306
株主資本合計	57,285	58,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,338	6,570
為替換算調整勘定	△201	△79
退職給付に係る調整累計額	△285	△279
その他の包括利益累計額合計	5,851	6,211
純資産合計	63,136	64,404
負債純資産合計	89,912	91,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	16,791	17,477
売上原価	11,235	11,869
売上総利益	5,556	5,608
販売費及び一般管理費	3,312	3,450
営業利益	2,244	2,157
営業外収益		
受取利息	24	28
受取配当金	211	177
為替差益	—	100
その他	93	76
営業外収益合計	329	383
営業外費用		
支払利息	12	7
為替差損	592	—
固定資産除却損	23	17
その他	41	31
営業外費用合計	670	56
経常利益	1,902	2,484
税金等調整前四半期純利益	1,902	2,484
法人税等	567	788
四半期純利益	1,334	1,695
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,334	1,695

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	1,334	1,695
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△821	231
為替換算調整勘定	△1,859	122
退職給付に係る調整額	28	5
その他の包括利益合計	△2,652	360
四半期包括利益	△1,317	2,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,317	2,056
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,617	7,777	1,254	15,649	1,142	16,791	—	16,791
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,285	497	0	2,782	314	3,097	△3,097	—
計	8,903	8,274	1,254	18,432	1,457	19,889	△3,097	16,791
セグメント利益	1,612	934	63	2,610	17	2,627	△383	2,244

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△383百万円には、セグメント間取引消去333百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△717百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,860	8,277	1,161	16,300	1,177	17,477	—	17,477
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,084	443	—	2,528	290	2,819	△2,819	—
計	8,945	8,721	1,161	18,828	1,468	20,297	△2,819	17,477
セグメント利益	1,791	952	6	2,749	11	2,761	△604	2,157

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△604百万円には、セグメント間取引消去177百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△781百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。